

# 宍陰校だより



3月号

令和6年3月1日発行

京都市立宍陰小中学校

〒616-8486  
右京区嵯峨嵯峨南ノ町32-2  
TEL 0771-44-0310  
校長 小川 秀

## 食の学習：その①（りんご）

2月13日（火）青森県りんご対策協議会・京都青果合

同株式会社のご協力のもと、全学年合同で『りんご』についての学習を行いました。青森県のりんごのPR活動をされている『ミスりんご』の成田さんに、リモートでりんごの栽培方法や種類などを教えていただきました。また、模擬のリンゴの木を使って袋掛け体験をしたり、国内のりんごを



代表する「サンふじ」と青りんごの「王林」の味わいの違いを楽しんだりしました。甘みの強い「王林」が人気でしたが、酸味と甘みのバランスが絶妙な「サンふじ」にも私たちがよく知る「りんごらしさ」が感じられ、好みは分かるところでした。

今日もスーパーにズラリと並ぶ「青森のりんご」がグッと身近に感じられるようになった体験学習となりました。

## 食の学習：その②（給食）

2月16日（金）前期課程・後期課程に分かれ『給食に関する学習』を行いました。

前期課程では、毎日の給食が産地から仕分け作業・運搬作業など多くの人たちの関わりによって宍陰小中学校に届くことや、「いただきます」「ごちそう様」という言葉に、食材や関わってくださった方々への“感謝”の気持ちがこもっているということを学びました。また後期課程では給食の歴史について学んだり、健康に過ごすための食事について考えたりしました。



私たちが日々いただいている食事の1つ1つは、多くの人たちの思いや知恵のバトンが繋がれた



ことによって自分たちの目の前に届いているということに、少しずつ目を向けていくことができればと願っています。



## 手話教室

2月21日（水）前期課程の人権教育として『手話教室』を行いました。

京都市聴覚障害者協会より、実際に聴覚に障害をお持ちの方にお越しいただき、手話や生活の中での苦労などについて教えていただきました。クイズなども交えながら、明るく楽しく伝えてくださり、子どもたちの感想には「手話をちょっとずつ覚えてみたいです。」「いつか耳が聞こえない人を助けたいです。」などの言葉が見られました。

映像や文字からでは得られない温かな触れ合いが、子どもたちにとって何よりの学びとなったと感じます。

## 「正解」

2月21日（水）セカンドステージ（5、6、8、9年生）合同での道徳を行いました。

題材は卒業式（卒業証書授与式）で歌う『正解』という歌です。「自分たちにとって9年生はどんな存在だったのか。」「自分にとって宍陰小中学校はどんな場所だったのか。」それぞれに考えながら、自分は卒業式でどんな思いをこめてこの

歌を歌うかを考えました。これから一人で新たな世界へ踏み出す卒業生へ“応援”の気持ちをこめて。これまで9年間を過ごした宍陰小中学校での思い出をふり返りながら。当日は卒業生、在校生、教職員が心を合わせて歌います。保護者の皆様、地域の皆様、9年生の門出をどうぞ、それぞれの場所から温かな拍手でお見送りいただけたらと思います。

宍陰での思い出を  
ふり返りながら歌う。



# 学校教育目標 「一人一人が輝き、自ら未来を創造する人の育成」



先月24日に「第55回  
人権交流京都市研究集  
会」に参加しました。

様々な人権問題について考える市民集会です。午前の全体会では、京都・東九条 CAN フォーラムの代表をされている朴 実 (Pak Shil) さんによる記念講演が行われました。1944年に在日朝鮮人2世として京都市南区東九条で出生され、当時ご自身が受けた差別やそれとの闘いのお話を通して、「多文化共生と人権尊重」の願いを伝えられました。また朴さんは1993年に「東九条マダン」という地域のお祭りを立ち上げています。「幅広い多文化共生」を願い、この地域に存在する多様な文化、そのすべてを楽しく生き生きと表現できる場として毎年11月に行われています。朴さんの講演に続いて、「東九条マダン」で活躍されている「ハンマダン」の皆さんによるノレ (歌) と例年ステージのクライマックスとなる朝鮮半島の伝統的な打楽器を使った音楽「サムルノリ」と日本の「和太鼓」が共演する「ワダサム」が披露されました。美しいノレと明るく力強い「ワダサム」の演奏に会場は熱く盛り上がりました。朝鮮半島の楽器に日本の和太鼓を持ち込んだのは、朴さんによる在日韓国・朝鮮人と日本人との共生の願いと、日本の歴史上、皮革産業として和太鼓作りに深く関わった同和地区の人々への想いが込められているそうです。在日韓国・朝鮮人と同様に、差別と闘ってきた同和地区の人たちへの同士としての想いなのかもしれません。

この20年30年で、在日韓国・朝鮮人問題や同和問題は、人々の力によって多くのことが解消されてきました。しかし、時代の中で形を変えて、様々な差別が起こっています。昨今在日韓国・朝鮮人に対してのヘイトスピーチや、同和問題に対しての間違った SNS の拡散があります。間違った発信をする人がいる以上に、それを鵜呑みにしてしまう多くの人々がいることが大きな問題となっています。また、誰もが平和を希求するはずなのに、ウクライナやガザ地区では今なお戦争が続いています。平和や人権尊重に向けて、私たちは決して他人事と考えず、常に目を向け耳を傾けるとともに、正しい知識と理解を得ることの努力を怠ってはいけないと思います。全ての人が強く「平和」と「人権尊重」を考えていかなければいけません。一人一人の「熱」が世界を変えていけるはずで「ワダサム」の熱い演奏は、まさしく「平和」と「人権尊重」に向けた、熱いメッセージだったと思います。

日	曜	3 月 行 事 予 定
1	金	①児童生徒朝会 ⑤計算大会 部活動1st
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	SC来校
6	水	1万歩運動の日 本部会 ⑤⑥調理実習6・8・9年
7	木	フッ化物洗口 ALT来校 ICT支援員来校
8	金	巡回文庫 自由参観 ⑤漢字大会
9	土	
10	日	
11	月	保健安全の日 発育測定 送る会リハ 預り金振替日
12	火	⑥委員会
13	水	⑤⑥9年生を送る会 本部会
14	木	フッ化物洗口 ③式練習 ④式予行 ⑤式準備 ALT来校
15	金	第4回卒業証書授与式 SC来校
16	土	
17	日	
18	月	給食最終
19	火	①②授業 ③修了式・大掃除 ④学活 SC来校
20	水	春分の日
21	木	春季休業開始
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	離任式
29	金	
30	土	PTA歓送迎会
31	日	
4月		8日(月) 着任式 始業式 12日(金) 給食開始 16日(火)・17日(水)・19日(金) 家庭訪問 18日(木) 全国学力調査6・9年 30日(火) ⑤⑥ふき採り